

FORMULA REGIONAL JAPANESE CHAMPIONSHIP RACE REPORT

Rd.1	OKAYAMA	>>>>>>>>>	MAY 24-25
Rd.2	FUJI SPEEDWAY	>>>>>>>>>	JUN 28-29
Rd.3	SUZUKA CIRCUIT	>>>>>>>>>	JUL 12-13
Rd.4	Sportsland SUGO	>>>>>>>>>	AUG 30-31
Rd.5	FUJI SPEEDWAY	>>>>>>>>>	SEP 26-27
Rd.6	SUZUKA CIRCUIT	>>>>>>>>>	NOV 22-23

SUZUKA
CIRCUIT

**TOM'S**

Rd.6

11.22[sat] - 23[sun]

[place] 鈴鹿サーキット (三重県鈴鹿市)

[weather] [sat] 晴れ [sun] 晴れ

[spectators] 69,200人

[fri] 5,200人 [sat] 28,000人 [sun] 36,000人

鈴木斗輝哉がRace13で優勝するも
逆転でのチャンピオンは叶わず。
梅垣清が2025年FRJチャンピオンに輝く。

QUALIFYING

2025 FORMULA REGIONAL JAPANESE CHAMPIONSHIP Round6が11月22日(土)・23日(日)に鈴鹿サーキットで行われた。#38 鈴木斗輝哉が金曜日の専有走行から好調な走りを披露し、予選1回目ではコースレコードを更新してポールポジションを獲得した。予選2回目ではライバルの先行を許して3番手に終わったが、逆転チャンピオンに向けて確実に流れを掴んでいた。

一方、ランキング首位の #37 梅垣清も鈴木に対して肉薄するも、予選1回目はわずかに届かず2位。予選2回目も2位となった。

●天候: 晴れ ●気温: 15℃ ●路面温度: 18℃



RACE

Race13 ●天候: 晴れ ●気温: 18℃ ●路面温度: 22℃

Race14 ●天候: 晴れ ●気温: 10℃ ●路面温度: 13℃

Race15 ●天候: 晴れ ●気温: 17℃ ●路面温度: 23℃

Race13 決勝(13周)では、ポールポジションからスタートした鈴木が他を寄せ付けない走りで今季5勝目を記録。梅垣はスタートでの出遅れが響き3位に終わった。23日(日)早朝から行われた Race14 (13周)では、スタートで2番手に上がった鈴木が逆転チャンピオン獲得のために果敢にアタック。4周目の1コーナーで外側から追い抜きにかかったが、ライバルと接触してリタイアとなった。このレースで2位に入った梅垣が、最終レースを待たずチャンピオンに決定した。

予選1回目のセカンドベストタイムによりグリッドが決まった Race15(13周)は、2台とも2列目からのスタート。トップ攻略は難しく、鈴木は3位、梅垣は4位でチェッカーを受けた。



37 TOM'S TGR-DC FR
KIYOSHI UMEGAKI
Driver **梅垣 清**

	Race 13	Race 14	Race 15
予選	2位	2位	4位
決勝	3位	2位	4位

	Race 13	Race 14	Race 15
予選	QF1ベストタイム P2/1'56.015 Course Record	QF2ベストタイム P2/1'55.325 Course Record	QF1セカンドタイム P4/1'56.360 Course Record
決勝 ベストタイム	P3/1'57.328	P2/1'57.437	P4/1'58.481

38 TOM'S TGR-DC FR
TOKIYA SUZUKI
Driver **鈴木 斗輝哉**

	Race 13	Race 14	Race 15
予選	1位	3位	3位
決勝	1位	DNF	3位

	Race 13	Race 14	Race 15
予選	QF1ベストタイム P1/1'55.928 Course Record	QF2ベストタイム P3/1'55.441 Course Record	QF1セカンドタイム P3/1'56.351 Course Record
決勝 ベストタイム	P1/1'56.949 Fastest Lap Course Record	DNF/1'57.652	P3/1'58.378

37



ドライバー 梅垣 清

チャンピオンは獲得できましたが、今回は3レースとも波に乗れず、それぞれで悔しいところがあったので、心境としては複雑です。開幕戦では予選からうまくいかないこともあったのですが、チームとコミュニケーションを取りながら、シーズン中盤にかけて自分自身の課題をクリアしていきました。最終的に7回優勝することもできましたし、たくさんの経験を得られました。TGRの皆様をはじめ、TOM'Sの皆さんにサポートしていただいたことにすごく感謝しています。

38



ドライバー 鈴木斗輝哉

2レース目はリタイアとなりましたが、個人的にはあのまま2位で終わるよりは絶対にトライをしようと決めていました。シーズンを通して、予選一発では速さがありましたが、決勝での組み立て方で崩れるもったいないレースがありました。特に後半戦はそれが裏目に出て、チャンピオン争いの結果にあらわれました。少しのミスがレースに大きく影響したので、来年はその経験を糧に、自分自身の精度を上げ、さらに頑張りたいと思います。



チーム監督 山田 淳

梅垣選手のチャンピオン獲得には「おめでとう」と言いたいです。最後は勝ちきってもらいたいところでしたが、今大会は良いところが少なかったという印象でした。しかし、シーズンを通してポイントを積み重ねてきた結果のチャンピオンなので、良くやったのかなと思います。鈴木選手は、マカオGPの経験も活きて、今週末は非常に調子が良かったので期待していました。ただ、2レース目で若さが出たのかなと思います。仕方ない状況だったかも知れませんが、もう少し冷静にいても良かったかも知れません。いずれにしても、1年間しっかり戦い、成長を見せてくれました。



PONOS

マツキヨ

GR TOYOTA
GAZOO
RacingTGR-DC
TGR Driver Challenge Program

DUNLOP

MOTUL

